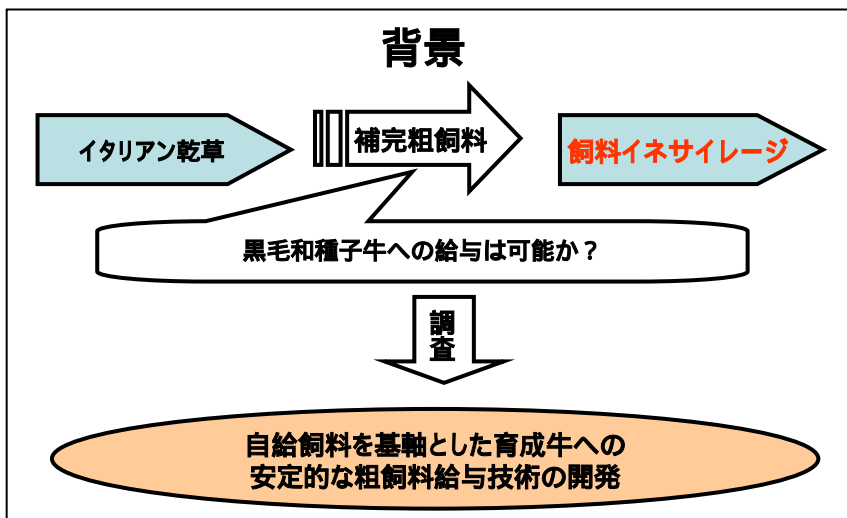


# 飼料イネを用いた黒毛和種子牛育成

## 要約

飼料イネサイレージは黒毛和種子牛育成用粗飼料として利用可能！  
 TDN含量50%以上の良質な飼料イネサイレージの利用が必要！  
 飼料イネサイレージを多給し育成を行う場合は、タンパク水準を高めた濃厚飼料を給与することにより良好な発育が得られる。



飼料イネ給与風景

表1 乾物摂取量および発育の比較

	飼料	合計摂取量 <sup>1)</sup> (kg)	雌雄	体重 <sup>2)</sup> (kg)	体高 <sup>2)</sup> (cm)
			去勢	雌	
飼料イネサイレージ区	濃厚飼料	493.6	去勢	279.1	111.5
	飼料イネサイレージ	248.3	雌	245.7	108.3
イタリアンライグラス乾草区	濃厚飼料	482.1	去勢	281.1	111.3
	イタリアンライグラス乾草	260.9	雌	246.1	107.1

1)生後4～9ヶ月齢の摂取量。

2)生後9ヶ月齢時点。

表2 黒毛和種子牛への飼料イネサイレージ給与例

単位：原物kg/日・頭。

体系	飼料	月齢					
		4	5	6	7	8	9
基準型	飼料イネサイレージ <sup>1)</sup>	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	5.5
	濃厚飼料 <sup>2)</sup>	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.0
多給型	飼料イネサイレージ <sup>1)</sup>	2.0	3.5	4.5	5.5	6.5	6.5
	濃厚飼料 <sup>3)</sup>	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	4.5
	(濃厚飼料 <sup>2)</sup> +大豆粕)	(2.3+0.2)	(2.8+0.2)	(3.2+0.3)	(3.7+0.3)	(4.1+0.4)	(4.1+0.4)

1)DM40.0%, TDN50.0%, CP6.0%とする。給与量は目安であり不断給餌とする。

2)DM88.0%, TDN68.0%, CP15.0%とする。

3)DM88.0%, TDN68.7%, CP17.5% 大豆粕を濃厚飼料給与量の8%添加しCP割合を高める。